



社団法人 広島市医師会 第345号 平成17年11月発行

臨床検査センターだより

〒730-8611 広島市中区千田町三丁目8番6号
TEL (082) 247-7191 / FAX (082) 244-0403
フリーダイヤル 0120-14-7191
<http://www.city.hiroshima.med.or.jp/>

目次	◇検査室紹介シリーズ(病理部門)	1	◇今月の笑顔	7
	◇生体検査のご案内	3	◇D.I.質問箱	8
	◇学会報告(日本臨床化学会夏期セミナー) ..	4	◇編集後記	8
	◇インフルエンザ感染情報	6		

検査室紹介シリーズ

病 理 部 門

検査三科病理 主任 山田 明子

病理検査部門は、現在9名のスタッフが在籍し、年間約30,000件の病理学的報告書をお返ししています。また、開設以降の累計は約80万件の報告書となっています。

組織学的な診断は広島大学分子病理学教室の安井弥教授をはじめ4人の病理医に、また、口腔内(歯科)については広島大学口腔顎顔面病態学教室の高田隆教授をはじめ3人の先生方に取扱い規約に従い診断をしていただいています。



▲パラフィン切片薄切

精度管理

日本臨床衛生検査技師会のコントロールサーベイにて2003年度では100点の成績をおさめています。また、内部精度管理として作成した標本は、技師が顕微鏡下で染色性等の標本チェックを行い、その後、病理医に診断をしていただいています。

検査工程

生検材料での病理組織診断のご依頼から報告書お届けまでの標準的な検査作業工程を紹介いたします。

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
検体受付 → 自動包埋装置	標本作成	診断	報告書入力 → チェック	報告書発送

※報告書発送まで通常は5日間で行っていますが、以下の症例においては遅れる場合があります。

- ① 骨・石灰化等で脱灰作業が発生した場合
- ② 診断時に病理医より追加切り出し・深切り・特殊染色・免疫染色等の指示が発生した場合
- ③ 手術材料、また、ホルマリン固定に時間を要する材料など

染色

1. 全ての検体においてHE染色を行っています。
2. 材料または疑われる臨床診断により、以下に示す特殊染色をルーチンとして行なっています。

胃	粘液多糖類(PAS)
大腸	酸性粘液多糖類(PAS-ALB)
肝臓	細網線維(トギン)・膠原線維(マッソントリクローム)・HBs 抗原(オルセイン)
骨髄	白血球等(PAS)・鉄(Fe)・白血球等(ギムザ)・核酸(MGP)・細網線維(トギン)
筋肉	基底膜(PAS)・線維素(PTAH)・膠原線維(マッソントリクローム)
動脈血管	弾性線維(エラスチカ・ワンギーソン)
Helicobacter pylori	ヘリコバクター・ピロリ ・ 桿菌(ギムザ)
TBc(結核)	抗酸菌染色(チールネルゼン)
Carcinoid	内分泌細胞の鑑別染色(グリメリウス)
悪性黒色腫	内分泌細胞の鑑別染色(フォンタナ・マッソン)

3. その他、必要に応じ免疫染色(上皮性腫瘍マーカーではkeratin・EMA・CEA、内分泌系マーカーではNSE・Leu 7・CEA・S-100・Chromogranin A・Synaptophysin等144種)も実地しております。(→診療支援 2. 参照)

診療支援

1. 病理診断報告書発送時にはHE標本を病理診断報告書とともに送付し、また、手術材料等については、報告書とともに臓器のカラーコピー(実寸大)を添付しています。
2. 免疫染色については、144種類の抗体の中から病理診断に必要な免疫染色を行っています。

※染色の種類については病理医が判断しています。

また、当検査センターでは、免疫染色の料金は、病理組織診断の中に含んでいます（保険請求上は免疫染色300点が加算できます）。

3. ご依頼があった場合、乳腺材料においては悪性の場合hormone receptor (Estrogen receptor・Progesterone receptor) の免疫染色、さらにHercepTestを実施し併せて報告しています。

※hormone receptor (Estrogen receptor・Progesterone receptor)の免疫染色実施により810点を、また、HercepTest実施時には別途810点加算請求できますが、当センターでは病理組織診断の料金の中に含んでおり、別に料金請求はいたしません。



▲病理標本作製(写真は免疫染色)

その他の活動といたしまして、広島県腫瘍登録事業に参加し地域医療に貢献しています。

個人情報保護法につきましては、広島県医師会速報(第1897号)附録 広島県腫瘍登録事業からのお知らせをご覧ください。

《病理検査室からのお願い》

病理医に正確な病理診断をしていただくため、依頼箋には「採取部位(臓器)」「採取方法」「臨床診断」「臨床経過」「局所所見」等、詳しい情報の記載をお願いいたします。
また、病理診断への希望・疑問等があれば、加えてご記載ください。

会員の先生方に安心してご利用いただけるよう、また、先生方にお役に立つ情報をお伝えできるよう病理スタッフ一同頑張っております。ご不明な点はいつでもお気軽にお問合せください。今後ともよろしくお願いいたします。

生体検査のご案内

▼CT検査

ご予約先：(082)247-7191(代表)/フリーダイヤル0120-14-7191
〈月～土曜日 8:30-19:00 受付予約〉

▼乳房X線検査(マンモグラフィ)

実施日：毎週 火曜日 および 木曜日 午後1時～3時 〈予約不要〉

※X線検査依頼状を持って検査センターまでお越しください。